



福島県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会のご紹介

<福島県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会（県協議会）とは…>

県内で活動する総合型クラブの定着・発展を促進するため、その円滑な運営に資する情報交換や交流の活性化を図ることを目的として設立された公益財団法人福島県スポーツ協会組織内組織です。毎年、交流会や研修会を開催しており、各クラブ間のコミュニティづくりを促す良い機会となっています。

今回は、今年度開催された交流会と研修会の様子を紹介します。

県協議会の詳細はこちら！



交流会

10月18日（金）に会津地区の喜多方市山都町で「探索ウォークラリー」を開催しました。

楽しく歩きながら山都町の文化や自然に触れ、事務局が設定したチェックポイントでチームの皆さんで「はいチーズ！」。チェックポイントごとに点数が設定されており、合計点数を各チームで競い合いました。

山都町の魅力や歴史を感じる景観に感動し、山都蕎麦に舌鼓を打ち、他クラブの方々との楽しい交流となりました。

参加者の皆さんは8キロ以上歩き疲労困憊のようでしたが、笑顔あふれる交流会でとても充実した1日となりました。

今まで実施したことがない企画でしたが、探索を楽しみながら情報交換や交流を図り、皆さんが楽しめる交流会となりました。



研修会

12月21日（土）に郡山商工会議所にて、「持続可能なクラブ運営に向けたスポーツ×人材育成セミナー」というテーマで福島大学人間発達文化学類 地域スポーツ政策研究所所長の運沼哲哉氏を講師としてお招きし、開催しました。

少子化による人口減少が進行していく中で、スポーツにより魅力ある地域づくりをしていくためには、スポーツ人材の育成と効果的な活用が重要であるということを学びました。

参加者の皆さんにとっては、自分が所属する総合型地域スポーツクラブの現状や課題を照らし合わせながら他クラブの方々と話し合うことで、今後のよりよいクラブ運営について考えるよい機会になったのではないかと思います。

<参加者の声>

- ・もっと早くに今回の講義を受けたかった。地域スポーツ振興のための取り組みに関して今よりも良いアプローチが出来ていたのではないかと感じた。今後へ向けてとても有意義な研修会となった。
- ・講義を受ける前は「3時間の研修は長い！」と思っていたが、終了後は「3時間では足りない！」と感じるくらい充実した研修会だった。